

あなたは、あなたのままでいい――

ドキュメンタリー映画

笑いのたね

生きづらさを抱えた人たちの居場所
「ワラタネスタジオ」

都鳥伸也監督作品



企画・製作 都鳥拓也 都鳥伸也

監督:都鳥伸也 撮影・編集:都鳥拓也 サウンドデザイン:若林大介

応援スタッフ:藤崎仁志(現場録音) 高橋英樹(撮影) 岩永知佳子(撮影)

タイトルデザイン:堤岳彦(ebc) 宣材デザイン:高橋明音 AIRHUNCH

エンディングテーマ

『たいとう』

歌:なかのひろと 作詞・作曲:中野寛人

製作・配給:ロングラン 映像メディア事業部

ドキュメンタリー映画「笑いのたね」公式HP: https://longrun.main.jp/warai_tane/index.html





生きづらさを抱えた人々が笑いあい、つながっていく ——そんな“居場所”のものがたり

人口9万人の地方都市・岩手県北上市。

その商店街の一角に、不登校・ひきこもり・ニートなどの生きづらさを抱えている人たちが気楽にふらっと立ち寄れる居場所『ワラタネスクエア』がある。

ワラタネスクエアは、「誰も排除しない、否定しない」をモットーに、生きづらさを抱えて居場所を探している人たちに、何かをしても、何もしなくても大丈夫な「ただ静かに座っているだけでも尊重され、自由にリラックスして過ごせる居場所」を提供している施設である。そんなワラタネスクエアを立ち上げた後藤誠子さんも不登校・ひきこもりを経験した息子を持つ母親の一人だった。

この映画は、ワラタネスクエアに集う人たちが、互いに笑いあい、つながっていく心の回復の物語である。

ひきこもり支援の新たなキーワードとなった「自律」。後藤誠子さんは、「自分のやりたいことをやる」という形でそれを実践し、それが不登校だった息子さんの「自律」にもつながりました。「笑いの種」は「自律の種」でもあったのです。私の故郷である北上市に、こんな素敵な居場所があることを、心から誇らしく思います。

斎藤環(精神科医・筑波大学名誉教授・つくばダイアログハウス院長)



とても丁寧な時間を映画とともに過ごすことができた。
「私がやりたかったことをはじめたら次男が笑ったんですよ」
「日常にバカバカしいことができる場所がありますか」「対等に会おう
楽しさを知ってしまった」
この映画はそのひとの生きた世界に触れながら、こころが楽にな
っていく言葉に出逢う旅になるだろう。

森川すいめい(精神科医・鍼灸師)

企画・製作:都島拓也 都島伸也
監督:都島伸也 撮影・編集:都島拓也 サウンドデザイン:若林大介
応援スタッフ:藤崎仁志(現場録音) 高橋英樹(撮影) 岩永知佳子(撮影)
タイトルデザイン:堤岳彦(abc) 宣材デザイン:高橋明音 AIRHUNCH

エンディングテーマ

『たいとう』

作詞・作曲:中野寛人
歌:なかのひろと

製作・配給:ロングラン 映像メディア事業部

奥州上映会

8月23日

日曜

場所 奥州市役所江刺総合支所1階多目的ホール

時間 【開場】12:30 【開演】13:00

※映画の上映時間は約95分です。
上映終了後に、なかのひろとさんのミニライブを予定!

料金 無料

＼横につながる交流会in奥州を開催/
(ひきこもり支援について地域の人みんなで対話しよう!)

時間 【開始】15:15 【終了】16:00

対象 不登校ひきこもり支援に興味のある方

【主催】労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団北上笑いのたね事業所 【共催】奥州市 【協力】一般社団法人日本社会連帯機構
【お問い合わせ】北上笑いのたね事業所(電話)0197-72-8160 (メール) kitakami-waratane@roukyou.gr.jp